

# やまと

広報

合併号

2025 No. 297・298



表紙 Quru Guru にやってきたユワン

02-03 新年のご挨拶・二十歳のつどい

04-09 シマのわだい

10-13 どうくさむんがたり、お知らせ、ほか

14-16 大和村長のフォトダイアリー、ほか



# 年始のご挨拶



村民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

村民の皆様には、輝かしい令和7年の新春をご家族おそろいでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて昨年は、石川県能登半島地震の発生や、「南海トラフ地震臨時情報」が制度開始から初めて発表されるなど、自然災害に対する考えを改めて認識する一年になったかと思えます。

村でも、避難訓練を継続的に行いながら、ソフト面においても研修等も実施することで、自防防災組織を中心とした災害対策に努めていきたいと思うところです。

さて、今年の村政の基本方針について申し上げます。

## 行財政改革の推進

マイナンバーカードの普及による自治体システム標準化の構築と併せ、補助率の高い補助事業導入を基本に、「最小の経費で最大の効果」を目指し、適正な予算執行による健全財政の確立と、公務員の定年延長制度による適正配置に努めて参ります。

## 農林水産業の振興と企業と連携した

ブランドイングの推進による特産品の促進  
タンカンを主とした特産品の付加価値向上のため企業と連携してブランドイングの推進に努めるほか、加工施設の活用促進に加え、民間温泉施設と連携した地産地消の推進に努めます。

## 高等教育機関との連携による関係人口の創出と定住促進対策

旧戸円校におけるインフィニティ国際学院の継続活用や、今年4月にオープン予定の「アマミノクロサギミュージアムQuRuGuRu」における東京農工大学との研究利用促進による関係人口の創出と、定住促進住宅の整備に取り組んで参ります。

## 官民連携による観光振興と自然保護の推進

温泉施設やクロウサギ研究飼育施設を、観光拠点施設として体験型観光と連携するほか、自然保護への取り組み強化を図って参ります。

## 福祉政策と教育環境の充実した

### 村づくりの推進

令和5年度に開設した福祉事務所の安定的な運営を図り、放課後児童クラブ及び地域包括支援センターの安定的運営の継続と併せ、認定こども園整備に向けての検討と、子ども家庭センター設置に向けた構想を計画的に進めます。

その他、道路交通網、生活環境の整備促進と、防災力向上による安全安心な村づくりの推進の合計7つの基本方針を推進し、「村民が主役・小さくとも光輝き続ける村づくり」の実現に邁進して参りたいと思えます。

そして今年、関係企業・各種団体と連携を図りながら、自然をいかした奄美大島の西側観光ルートを構築し、世界自然遺産登録地を有する本村の基本理念である「自然と共生し、生き生き、安全・安心な住みよい村づくり」の実現に向けて新たな気持ちで努力して参ります。

以上のこと等に、全職員一丸となって、全力を尽くして参りますので、村民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新春にあたり、村民の皆様方の限りないご多幸と、益々のご健勝をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

大和村長 伊集院 幼

# 祝 二十歳おめでとう

令和7年1月4日(日)に「大和村二十歳のつどい」が開催され、振袖や袴を着た二十歳の若者が集い、華やかなお祝いムードに包まれました。今年の対象者は21名で、そのうち12名が出席しました。旧友たちとの再会に、笑顔がこぼれました。

自己紹介では、親への感謝、大和村への思い、今後の抱負など思い思いに語ってくれました。

出席者代表の政村李玖さんは、謝辞の中で、20年間支えてくれた家族への感謝を語り、これまでの自分を

振り返り、「自分の好きなことを好きなようにしてきた20年だったと思います。高校卒業後、みんなそれぞれの場所や夢に向かって努力しています。これからは社会人として、言動に責任を持ち、困難が立ちほだかり思い通りにいかななくても、誰かの批判をするのではなく、誰かのために力を発揮できる大人になりたいと思います。」と誓いの言葉を述べました。

二十歳を迎えたみなさまのこれからのご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

# 祝 二十歳のつどい

濱井 夢夢(大和) 政村 李玖(大和) 久保 颯太(大和) 徳 楓法(大和) 奥平 光(大和)



宮本 心満(大和) 仁規 希夕(大和) 仁規 萌音(大和) 福本 藍果(今里) 碓本 愛美(大和) 賀川 美紀(大和) 重信 夢月(大和)



## 災害想定し訓練

11月17日（日）、防災訓練を行いました。奄美大島近海を震源とするマグニチュード8の地震が発生し、「大津波警報」が発表され大和村全域に8メートルの津波襲来があることを想定。避難指示が出されると村内の高台や指定の避難所に、村民452名が避難しました。訓練後は消防団員・自主防災組織が公民館にて反省点や問題点、要望等を話し合いました。避難経路の確認や、持ち出しグッズの用意など日頃から災害に備えておきましょう。

同日、大和村防災センターで内閣府アドバイザー派遣事業を実施しました。講師に元大島支庁長の印南百合子氏を招き、「誰一人取り残さない防災～防災になぜ男女共同参画の視点が必要か～」と題した研修会を実施しました。性別によって災害から受ける影響や支援ニーズが異なることなどが紹介され、参加者からは、「これまでの避難所開設は確かに男性目線でしか考えたことがなかった」などの声がありました。



## ウサギつながりで交流

11月9日（土）、鳥取県八頭町で開催されたウサギをテーマにしたイベント「うさのわ」でアマミノクロウサギミュージアム Quru Guru のPRを行いました。やずうさぎプロジェクトが開催するもので、八頭町は白兔伝説や白兔神社があることからウサギを使った町おこしの一環です。クロウサギや Quru Guru についてクイズを交えたトークイベントに参加。また、八頭町は果樹の村でもあることから、大和まほろば館では、八頭町から梨や柿を取り寄せ「八頭町フェア」も開催しました。



## 学びの充実のために

名音小学校と今里小学校の5・6年生で合同遠隔授業を行いました。学習には、友達と一緒に学びを深める協働的な学びも大事なのですが、小規模校の多い大和村では、ICT機器の活用で解消しようと取り組んでいます。

名音小の先生が、名音小と今里小の6年生の授業を、今里小の先生が、名音小と今里小の5年生の授業を行いました。画面越しではありますが、同じ学年の友達と学ぶことで、自分の考えに自信がもてたり、新たな発見があったりした様子が見られました。

## 方言をデジタルで保存

11月2日（土）、大和村防災センターで第3回長田須磨シンポジウム（奄美文化継承プロジェクト主催）が開催されました。

IT（情報技術）による文化継承と発信をテーマに、琉球大学の狩俣繁久名誉教授、鹿児島県立短期大学の倉重賢治教授、岡村俊彦教授を招き講演を行いました。IT技術を使い、貴重な資料を長期保存して、後世に残す意義について語られました。

狩俣教授は、インターネットで検索できる音声付きデジタル方言辞書「大琉球語辞典」を公開しています。長田須磨氏の著書『奄美方言分類辞典』も含まれており、辞書の単語の発音や例文も確認することができ、長田須磨氏の肉声が使用されています。奄美語の他に、与論や沖縄の方言辞典が収録されています。右記二次元コードを読み取ると、スマホでもご利用できます。



## フライドオレオって??

11月23日（土）、大和村国際理解講座が開催されました。第3回目となる今回のテーマは、アメリカ合衆国テキサス州の食文化。奄美市国際交流員でテキサス州出身のクレグ・レベッカローズジーンさんを講師に招き、テキサス州のお祭り（state fair）で大人気というフライドオレオを調理しました。クッキーをホットケーキ生地で包んで油で揚げたもので、参加した子どもたちは英語を交えながら力を合わせて調理していました。フライドオレオのお供は、テキサス州発祥の炭酸飲料ドクターペッパー！なんともアメリカらしい組み合わせを楽しみました。

後半は、ローズさんによるテキサス州の食文化についての講座が開催されました。テキサス州の地理や歴史、食文化に触れ、子どもたちにとって普段の生活とは異なる文化を感じられる内容だったのではないのでしょうか。



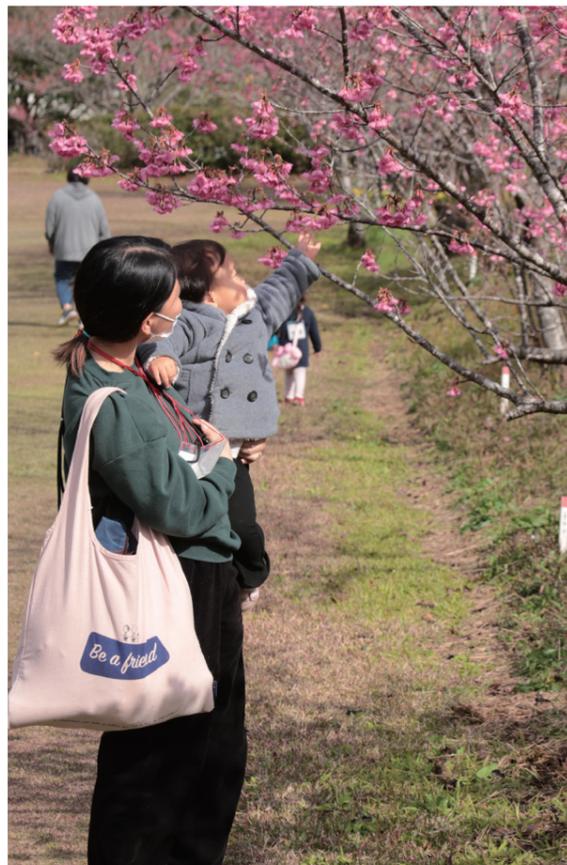
## 森林浴でリフレッシュ

1月26日（日）に奄美フォレストポリスで第21回まほろば大和ウォーキング大会が開催されました。今年は、最強寒波の影響で、緋寒桜の開花が遅れましたが、当日は天候にも恵まれ、会場では鮮やかなピンク色の花があちこちで顔をのぞかせていました。

コースは、1キロ、4キロ、6キロの3つで、一帯は奄美群島国立公園、一部が世界遺産エリアに登録されており、自然豊かなウォーキングコースが魅力。今年は村内外から964名が参加し、思い思いに森林浴を楽しみました。

また、恒例のツツジの植樹や、抽選会も実施。抽選会では、あまみ商工会、日本エアコミューター（株）、日本航空（株）等の協賛により、航空券や大和村の海産物、紬製品などの豪華な商品が用意されました。

世界遺産の森で来年も歩いてみませんか。またのご参加をお待ちしています！



## 空き家利活用セミナー

12月15日（日）、講師に江口司法書士事務所の江口祐希さん、NPO法人あまみ空き家ラボ理事長の佐藤理江さん、DIYによる空き家活用の講師として森口貴司さんを招いて、大和村防災センターにて登記相続・空き家利活用セミナー及び個別相談会が行われました。大和村では「空き家があるけれど、どうして良いかわからない」という相談が増加傾向にあり、出席者からは、「登記相続のことで悩んでたところでのセミナーだったので良かった」と声が挙がっていました。



## 正月準備いよいよ

12月27日（金）、年末を締めくくる「ひらとみ朝市」が開催されました。

毎年恒例の正月飾りや農産物の販売では、今回も販売開始の午前8時を前に沢山の人が列をなし販売の合図を待っていました。8時の開催宣言と同時に多くの方が狙っている農水産物を手に取りました。わずか数十分で売り切れる品物もあり、今回のひらとみ朝市も大盛況に終わりました。たくさんのご来場ありがとうございました。



## 村民の安心・安全を祈願

令和7年1月5日（日）、新春恒例となる大和村消防出初式が開催されました。村民の安心・安全を祈願し、消防関係者の1年間の安全、士気高揚を図るため毎年開催されています。当日は消防職団員による行進、消防団員による一斉放水、表彰式が執り行われました。防災には、各個人の備えも大切です。日ごろから火災予防に努め、迅速に避難ができるよう災害に備えておきましょう。表彰された方々は以下の通りです。

### 【県知事表彰】

功労章	団長	森田	昌敬さん
勤続章	第2分団	宮本	聖平さん
功績章	第4分団	戸内	菊治さん
精績章	第1分団	大野	英則さん

### 【大島支部長表彰】

勤続章	分団長	杉島	勇さん
功績章	第1分団	元田	豊春さん



## 福元ブランド化に期待

今年のタンカンは、天候の影響を受けて全体の品質は低下傾向が見られました。昨夏の7月～11月にかけての高温と、昨秋の長雨による日照不足などの影響で糖度と酸度が例年より低い結果となりました。また、ヒヨドリやカラス、イノシシなどの鳥獣害も多かったようです。

2月5日（水）、福元にある玉野公和さんの農園にて、ハサミ入れ式が行われました。悪条件にも負けず、たわわに実ったタンカンを前に、伊集院村長は「福元盆地は、自然環境の特徴からタンカン栽培に適している」とブランド化への意欲を語りました。

2月15日（土）には、神奈川県大和市で恒例のタンカン即売会を行い、過去最多の約1トンを持ち込み午前中の3時間で完売。さらに、大和まほろば館へのタンカン注文は、374件455箱で、昨年より約250Kg増となりました。大和村は、今後もタンカン農家の皆さんと共に、高品質の果実生産に努めます。



## クロウサギ飼育はじまる

2月18日（火）、鹿児島市と「アマミノクロウサギ等希少野生生物種の保全に係る連携と協力に関する協定」を締結しました。アマミノクロウサギの飼育で得られた情報を交換するなどし、希少生物の保全を目指すものです。同日、鹿児島市平川動物公園で飼育されている個体を、この春オープンする「アマミノクロウサギミュージアム Quru Guru」に移送し飼育を開始しました。移送したのは雄の個体で愛称は「ユワン」。交通事故の後遺症があることから野生復帰がかなわず、平川動物公園で4年間飼育されていました。Quru Guruのオープンまでにもう一頭が移送される予定です。

現在、ユワンは、Quru Guruの隔離飼育室で飼育されており、ユワンの様子は、24時間監視カメラで録画しています。巣箱での行動など、これまで観察できなかった生態も明らかになることが期待されます。



## オンラインで台湾交流

2月20日、村内の小学校5・6年生が台湾の小学5年生とオンライン交流を行いました。食や自然、学校生活などを英語で紹介しました。自己紹介で誕生日であることを伝え、台湾の友達が誕生日の歌で祝ってくれたり、英語の質問に答えてもらったりしてコミュニケーションを楽しみました。村では、大和中の生徒を海外に派遣する事業も行っております。これらの経験が、国際感覚を育むことにつながっていくことでしょう。



## 田舎暮らしを体験

2月9日（日）～22日（土）まで、大和村ふるさとワーキングホリデーを開催しました。就農や移住を目指す方などに田舎暮らし体験と、地域との交流を行い、大和村の魅力を発信してもらうきっかけを創造する取組です。大学生やインフルエンサーを中心に6名が参加。タンカン収穫、シイタケ駒うちを体験などを行いました。参加者からは「農産物がこのように手間をかけて育てられて出荷されていることを知った」、「自然と共に生きる豊かさを感じた」などの感想が聞かれました。



## お花見に出かけました

大和の園でお花見が行われました。寒い時期でしたが日差しの暖かい日を選んで外出しました。

桜を目にした瞬間、利用者の皆さんは「咲いてるね」「きれいだね」と、自然と笑顔がこぼれていました。ここ数年、外出の機会が限られていましたが、まるで優しいピンク色の雲が広がるような満開の桜に出会えたことに感謝しながら、おやつをいただき、穏やかな気持ちで帰園しました。



## 図書の寄贈がありました

2月26日（水）、明治大学の石川雅信教授（政治経済学部）から図書を寄贈いただきました。石川教授は、昭和51年から大和村を訪れ民俗研究に従事。石川教授は、毎年学生たちと大和村に滞在し聞き取り調査などを行われました。滞在期間中は、ひらとみ祭の作業や舟漕ぎ大会にも参加するなど地域との交流もあったそうです。今年度退職されることから、研究室の書籍や資料2000冊以上を寄贈することを申し出ていただきました。図書は、整理が終わったら中央公民館で閲覧できます。

## 大和村でもコンビニ交付が始まります！



Q：コンビニ交付とは？

A：住民票などが全国のコンビニ等に設置されたマルチコピー機で取得できるサービスです。全国のコンビニ、大和村役場、名音郵便局において利用できます。

Q：何の証明書が取得できるの？

A：住民票謄・抄本、印鑑証明書が取得できます。

令和7年6月からは、所得証明書、所得・課税証明書が取得できます。

1通200円です。

Q：誰が取得できるの？

A：期限が切れていない電子証明書が搭載されたマイナンバーカードを持っている方です。  
(マイナ保険証と同じ電子証明書を利用しますので、マイナ保険証を利用している方はご利用できます。)なお、証明書を取得する際に4桁の暗証番号が必要です。

Q：いつからはじまるの？

A：令和7年3月10日から全国のコンビニで取得できます。3月24日からは、役場設置の端末、名音郵便局設置の端末で取得できるようになります。

Q：家族の証明書も取得できるの？

A：住民票のみ同じ世帯に入っている方の証明書が取得できます。  
その他の証明書は本人のみが取得できません。

Q：利用できる時間は？

コンビニ	毎日 <sup>※</sup> 6:30～23:00
役場	毎日 <sup>※</sup> 8:30～17:15
名音郵便局	月～金曜日 <sup>※</sup> 9:00～17:00

※12月29日～1月3日は除く

### マイナンバーカードの電子証明書には 期限があります！

電子証明書の期限はカード発行の日から5回目の誕生日までです。

コンビニ交付やマイナ保険証をご利用の際は、顔認証や暗証番号を使用しますが、電子証明書の期限が切れていると、ご利用できません。マイナンバーカードの電子証明書の期限が切れているかと思われる方、暗証番号(4桁)を忘れてしまった方は、役場住民税務課で更新・発行ができます。

問合せ先 住民税務課 電話 0997-57-2127



## どうくさむんがたり

大和診療所だより  
Vol. 51

最終回!?

コンパッション・コミュニティ

文 / 小川 信

アラン・ケレハー氏(オーストラリア出身の公衆衛生学者)が提唱している言葉で、世界中で注目されています。「コンパッション・コミュニティ」を直訳すると、思いやりに溢れた地域です。みんなが我が事として、苦しんでいる人の支えになります。行政が緩和ケアにも取り組み、住民同士が支え合い交流できる機会を提供します。住民は自ら集まり、祭りや楽しみなどを共有していきます。学校でも死について考えます。

私は「大和村がコンパッション・コミュニティである」と思っています。みんなが当事者意識を持って、最後まで家にいたいという人を支えます。豊年祭や敬老会などの文化継承を行います。高齢者は自分の最後を子や孫たちに見せることにより、死について教えます。都会にはなくなってしまったものが、ここには残っています。高齢化が進んでも、人口が減っても、これからもずっとコンパッション・コミュニティであってほしいと願っています。

## 小川先生、長い間ありがとうございました！

### 大和村ワーキングホリデーが開催されました 文 / 三田もも子

全国から募った参加者に、農業や島暮らしを体験してもらい、関係人口増加による地域活性化を目指す目的で、2月9～21日までの間「大和村ワーキングホリデー」が開催されました。今回、初めての和村主催で、まるごと大和村が企画・運営を行いました。

参加者は20～30代の約6名。午前中はタンカンの収穫や選果などの農業体験、午後はまるごと大和村の観光事業者が行っている染色や八月踊りなどのアクティビティを行いました。また、旧暦1月16日の「山の神祭り」の参拝に参加するという貴重な体験もできました。ご協力いただいた農家の方々、宿泊事業者、観光事業者、集落のみなさま、ありがとうございました。

参加者は、村民の温かいおもてなしや、郷土料理、タンカンの味に喜ばれたようです。今後、旅行で再訪したり、自身のSNSで発信したりしてくれることでしょう。



大和村集落まるごと体験協議会の活動レポート  
日本一ゆるくりでまるごと大和村をめぐって





マイルがたまる!

※ご購入時にJMBお得意様番号・JMB登録名の入力が必要です

20

マイル

プレゼント

詳しくはこちら!



大和村

奄美市内と大和村内を結ぶ  
路線バスの乗車券を販売中!

JAL maaS

JAL MaaSは、空港を中心に、目的地までの移動手段の検索をはじめ、地上交通の予約やデジタルチケットの購入などが可能となるサービスです。

ご自身のスマートフォンで簡単に検索・購入

デジタルチケット購入後バス停へ

降車時にデジタルチケットをバス運転手へ提示



【利用の一例】



JAPAN AIRLINES

●保健福祉課より【令和7年度の検診のお知らせ】

4月26日(土)開催 女性がん検診(乳がん・子宮頸がん・骨粗鬆症検診)

□受付時間 9時~10時、13時~14時 □場所 大和村体育館 ※対象者には別途お知らせを郵送予定です。

検診名	対象者	必要物品	料金
子宮頸がん	20歳以上の女性	長めのスカート	無料
乳がん	40歳以上の女性	バスタオル	
骨粗鬆症	40・45・50・55・60・65・70歳の女性		

6月27日(金)~29日(日)開催 複合健診(特定健診・長寿健診・がん検診)

□場所 大和村体育館

【HPVキャッチアップ接種について】

HPVワクチンを2025年3月末までに1回でも接種開始した方は、全3回の接種を4月以降も公費で完了できるようにになりました。

□対象者

- ・HPVキャッチアップ接種対象者のうち、2022年4月1日~2025年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種した方
- ・2008(平成20年)年度生まれの女子で2022年4月1日~2025年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種した方
- 期間: キャッチアップ接種期間(2025年3月31日まで) 終了後1年間
- ◆問い合わせ 保健福祉課  
電話 0997-57-2218

●総務課より

【行政に対するご相談は、行政相談委員へ】

大和村の行政相談委員は、森貞義さんです。皆さんの身近な相談相手として、役場の仕事や行政サービス、手続きに関する相談を受け付け、相談者への助言や関係行政機関に対する改善の申し入れなどを行っています。



毎日の暮らしのなかで、登記、年金、道路、社会福祉など、お困りの方はお気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は守られます。

◆行政相談委員 森 貞義  
電話 080-1724-3267

盛土規制法の運用が始まります

盛土等に伴う災害から人命を守るため、令和7年5月より、大和村全域が危険な盛土等を規制する区域に指定される予定です。

運用開始後は一定規模以上の盛土や切土、一時的な土砂の仮置きについて、安全基準に適合させるとともに、鹿児島県の許可が必要となります。



詳しくは鹿児島県のホームページをご確認ください。

- 問合せ先
  - ・鹿児島県土木部建築課 盛土等規制対策班 099-286-3695
  - ・大和村建設課 0997-57-2142

建築をする際の手続きが改正されます!

令和7年4月1日以降に建築に着工する場合

① 県内どこでも階数2以上又は延べ面積200㎡超(※1)の建築をする場合、建築物の申請手続き(※2)が必要となります。  
※1: 都市計画区域外の木造の場合でも必要となります。

都市計画区域内の場合は、従来どおり、原則、規模に関わらず手続きが必要となります。  
※2: 建築基準法に基づく建築確認申請手続き

② 原則全ての新築建築物(増改築の場合は増改築部分のみ)を省エネ基準へ適合させる必要があります。

都市計画区域外: 大和村全域

- 詳細については、県の地域振興局又は建築場所の市町村へお問い合わせください。  
【大島支庁建設課建築係】0997-57-7344  
【大和村建設課】0997-57-2142

## こせきの窓

人口 1383人 (△ 22)  
 男 714人 (± 0)  
 女 669人 (△ 22)  
 世帯 830世帯 (△ 12)  
 2月28日現在  
 (前年同月比)



アミノクロウサギ事故件数  
 28件  
 不明・その他 15件

2025年3月4日現在

お母さんウサギの交通事故が多発中。  
 小さな命もなくなっています。  
 特に山側の法面からの飛び出しに注意!

2024年のアミノクロウサギ死体・  
 救護件数は、交通事故が118件、その  
 他は54件でした。

ケガをしているアミノクロウサギや  
 死体を見つけたらお電話ください!

奄美野生生物保護センター  
 電話 0997-55-8620

### 結婚おめでとう

政 悠介さん (思勝)  
 亀井枝理子さん (奄美市)

### お誕生おめでとう

村田茅味さん  
 (保護者 靖明・聖奈/津名久)

村田福空さん  
 (保護者 丈尚・綾子/国直)

福山ことりさん  
 (保護者 良平・恵理香/名音)

納 史玖さん  
 (保護者 孝行・優美/大和浜)

お悔やみ申し上げます

林紘紀様 (84歳・津名久)

里川正行様 (73歳・大和浜)

福山茂様 (59歳・津名久)

納カツヨ様 (95歳・名音)

前田幸二様 (77歳・大棚)

元その子様 (70歳・大棚)

池田政子様 (84歳・今里)

三浦満子様 (94歳・大金久)

福山トミエ様 (87歳・名音)

柳垂矢子様 (故池田政子様)

### 香典返し(社会福祉協議会へ)

林久枝様 (故林紘紀様)  
 里川龍正様 (故里川正行様)  
 福山郁代様 (故福山茂様)  
 前田明美様 (故前田幸二様)  
 柳垂矢子様 (故池田政子様)

### ふるさと納税

ありがとうございます

中濱寛様 (東京都)

伊藤弘章様 (岐阜県)

前里丈司様 (大阪府)

加藤麻樹様 (埼玉県)

千木良淳様 (東京都)

千葉孝文様 (神奈川県)

南郷毅様 (広島県)

吉田純一様 (神奈川県)

圓山節子様 (東京都)

坂元啓乃様 (千葉県)

堀井勇司様 (東京都)

山本志帆様 (神奈川県)

岩成寿美様 (奄美市)

岸本イサム様 (東京都)

市川康之様 (東京都)

林美樹様 (埼玉県)

武成実様 (徳之島町)

江浪まつみ様 (兵庫県)

海東次郎様 (神奈川県)

玉城政和様 (三重県)

田中克憲様 (福岡県)

藏満司夢様 (茨城県)

藏満結花様 (鹿児島市)

木内志朗様 (東京都)

元野嘉一郎様 (埼玉県)



集落巡回バス  
 きびきび号 運行中!  
 月・水・金の週3回



路線図・時刻表

※運行日が祝祭日の場合、運休となります。

広報やまとラジオ便

リスントゥーミーひらとみ  
 あまみ FM デイ! ウェイブ 月~土曜日 9:00/14:30  
 感想・ご意見お待ちしております!

放送中  
 77.7MHz

神奈川県大和市の FM YAMATO  
 「大和村の教えてシマッチュ!」

毎月最終土曜日 11:20~11:30 (再放送は翌水曜日の7:15~)  
 奄美では JCBA インターネットサイマルラジオで聞くことができます。



YouTubeで  
 動画公開中!



# Quru Guru

アマミノクロウサギミュージアムくるぐる

大和村に  
4月20日オープン！



ケガをした個体の  
保護、治療、リハビリ



ウサギの視点で見る  
夜の森の体験型展示



野生復帰ができない  
個体を見学できる  
昼夜逆転ルーム



アマミノクロウサギの  
飼育と研究



情報発信中！  
Instagramを  
フォローしてね

アマミノクロウサギと  
島人の歴史



野生生物と人間の  
関わり方について啓発



@AMAMIRABBITMUSEUM\_QURUGURU

## アマミノクロウサギミュージアム Quru Guru とは？

アマミノクロウサギ保護研究施設です。ケガをしたクロウサギの治療やリハビリを行い個体の野生復帰を目指しながら、生態研究や環境教育にも取り組んでいます。体験型の展示もあり、クロウサギの生態や人との共生についても楽しく学ぶことができます。

「くるぐる」とは、奄美の方言で「黒々している」という意味で、クロウサギの姿から名付けました。

4月20日の入場は予約制です。詳しくはお問合せください。

大和村企画観光課（電話 0997-57-2117）



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接 URL を入力してアクセスしてください。  
(<http://www.vill.yamato.lg.jp>)

発行・編集 大和村役場企画観光課  
〒 894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜 100 番地  
TEL 0997-57-2117 FAX 0997-57-2161  
mail:kikaku@vill.yamato.lg.jp  
<http://www.vill.yamato.lg.jp>